

Baudon du mauny

ボードン・デュ・モニー



モンペリエの旧市街にある貴族の館。18世紀に建てられたもので、代々家族が住み続けている。オーナーは現在、7代目。客室は5部屋あり、それぞれ大きさもデザインも異なる作り。写真は広い部屋と高い天井が特徴のシャンブル・ジブスリー。建物内には貸しアパートマンもあり長期滞在や家族旅行、ビジネストリップにも対応している。

客室をはじめ、サロンやダイニングも18世紀の建物に21世紀のインテリアを組み合わせたもの。パピヨン(蝶)の部屋は小さめでデザイナーズホテルのような内装。床が板ではなく石のまま、というのがより古い館を感じさせてくれる。





建物の入口や階段はタイムスリップしたような雰囲気。
モンペリエへはパリ・リヨン駅からTGVで3時間半。
駅から徒歩で約15分のところにある。

Casa honoré

カサ・オノレ